

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-013
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理
		部	学務
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—				
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—							
3	事業開始年度	平成 14 年度	点検対象年度	令和 7 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	小規模校再編事業実施2校の児童	対象数	221	単位	人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	児童の通学の安全を確保する。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	小規模校再編事業を行った2校で、月～金曜日までの開校日（長期休業日を除く）の登校時及び下校時に、児童の通学状況及び通学路周辺の安全を確保するため、安全指導員を配置。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	シルバー人材センター						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	児童生徒の通学の安全確保							
	当該目標を設定した理由	小規模校再編に伴い通学の安全確保を要する箇所があるため。							
	目標に対する実績	児童生徒の通学の安全確保ができています							
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標				
	安全指導員の配置により安全を確保した児童数	人	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
			目標値	223	225	221			
			実績値	223	225				
達成率	100%	100%							
	当該指標を選定した理由	小規模校再編に伴う通学の安全確保を要する箇所が通学路となっている児童数。							
	目標値の設定根拠・算出方法	配置箇所が通学路となる児童数							

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-013
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	3,598	2,753	4,507	2,812	4,250
13 財源内訳	国支出金		0		0
	府支出金		0		0
	市債		0		0
	その他 ()		0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0
	一般財源	3,598	2,753	4,507	2,812
14 人件費 (b)	1,640	1,640	1,620	1,620	1,620
15 年間経費(c)=(a)+(b)	5,238	4,393	6,127	4,432	5,870

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	R5 決算	1,990	1,990	新湊小に係る通学路安全指導業務	R5	決算	
					R6	予算	3,044
	R5 決算	625	625	はるみ小に係る通学路安全指導業務	R5	決算	
					R6	予算	1,006
	R5 決算	197	197	施設等修繕料	R5	決算	
					R6	予算	200
	R5 決算				R5	決算	
					R6	予算	
	R5 決算				R5	決算	
					R6	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① 安全を確保した児童数	人	223	225
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,393	4,432
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	19,700	19,698
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 必要な配置時間を精査し委託料を削減したうえで、安全指導員の配置により目標が達成できており、効果が得られている。 ■ シルバー人材センターに委託することで、高齢者に対して就業機会を提供することにつながっている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	配置箇所安全に登下校できており、児童の通学の安全確保に寄与した。
----	----------------------------------